

令和6年度総合目録ネットワークへのデータ提供に係るアンケート結果報告

総合目録ネットワーク事務局では、都道府県立図書館及び政令指定都市立図書館を対象に、総合目録ネットワークへのデータ提供に関するアンケートを実施しました。結果の概要を以下のとおり報告します。

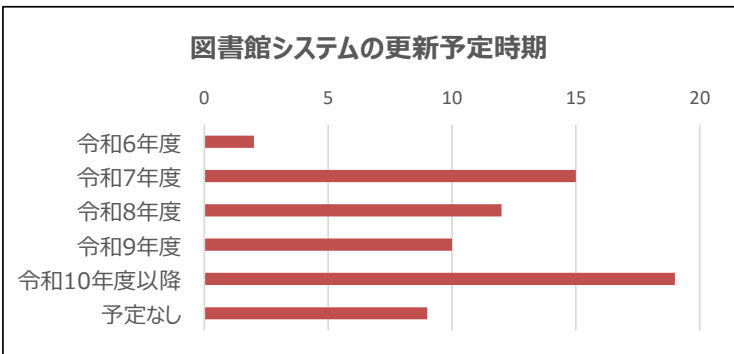
1. アンケートの概要

対象：各都道府県立図書館の中心館（京都府は2館）及び政令指定都市立図書館（68館）
※中央館が分館についても回答する都道府県については、中央館のみを回収対象とした。
アンケート回収率：98.5%（67/68館）
対象の内訳（回答した館数/調査対象の館数）
・国立国会図書館サーチへのデータ提供方法がOAI-PMHの館（56館/56館）
・国立国会図書館サーチへのデータ提供方法がSFTPの館（5館/5館）
・国立国会図書館サーチへデータを提供していない館（6館/7館）
期間：令和7年1月14日（火）から3月24日（月）まで
方法：オンラインアンケート

2. アンケート結果の概要

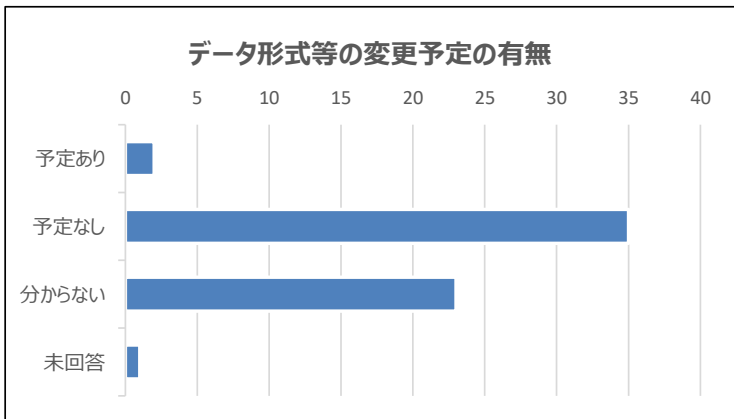
（1） 今後5年間の図書館システムの更新予定について

令和6年度	2
令和7年度	15
令和8年度	12
令和9年度	10
令和10年度以降	19
予定なし	9



（2） <データ提供館（61館）への設問> データ形式等の変更の予定について

予定あり	2
予定なし	35
分からない	23
未回答	1



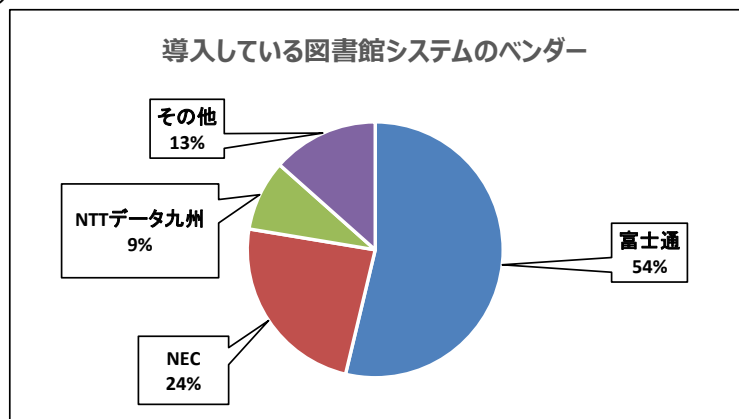
「予定あり」の図書館の変更内容（複数回答選択）

ID体系変更	1
OAI-PMHのリクエストURL等	1
OAI-PMH利用へ変更	1
未定	1

(3) 導入している図書館システムについて

導入している図書館システムのベンダー

富士通	36
NEC	16
NTTデータ九州	6
その他	9

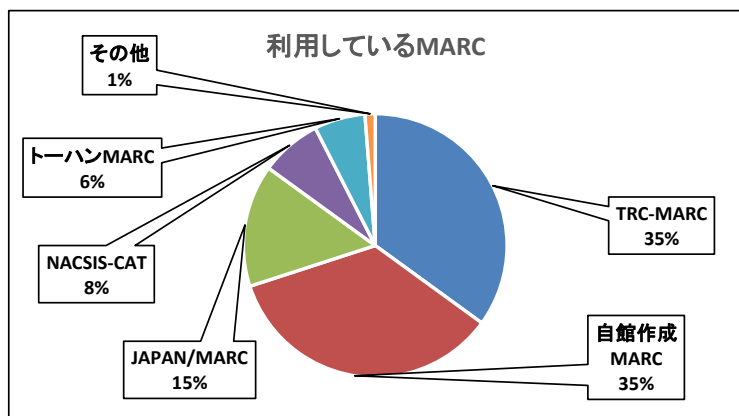


＜データ未提供館（6館）への設問＞ OAI-PMHへの対応状況について

対応している	2
対応していない	1
分からない	3

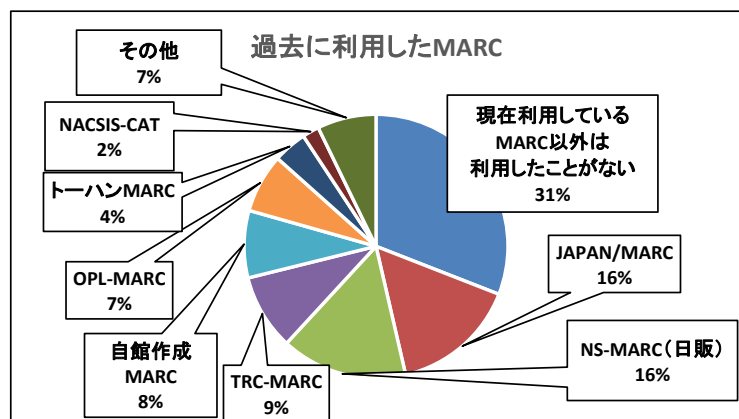
(4) 新たな書誌データを提供する際に利用しているMARCについて（複数回答選択）

TRC-MARC	56
自館作成MARC	56
JAPAN/MARC	24
NACSIS-CAT	12
トーハンMARC	10
その他	2



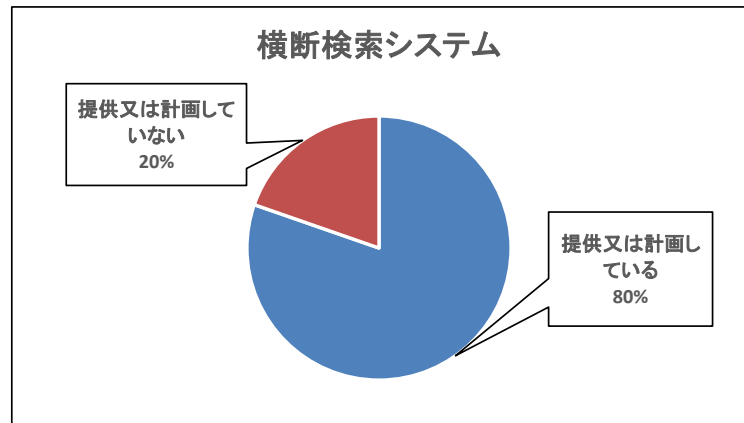
(5) 過去に利用したことがあるMARCについて（複数回答選択）

現在利用しているMARC以外は利用したことがない	30
JAPAN/MARC	15
NS-MARC（日販）	15
TRC-MARC	9
自館作成MARC	8
OPL-MARC	7
トーハンMARC	4
NACSIS-CAT	2
その他	7



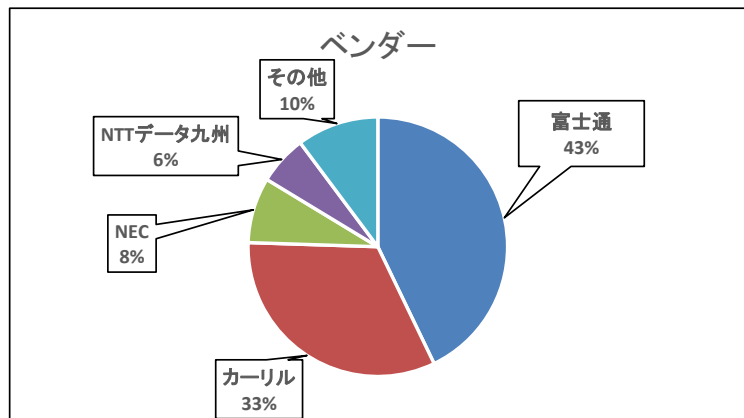
(6) <データ提供館（61館）への設問> 横断検索システムについて

提供又は計画している	49
提供又は計画していない	12



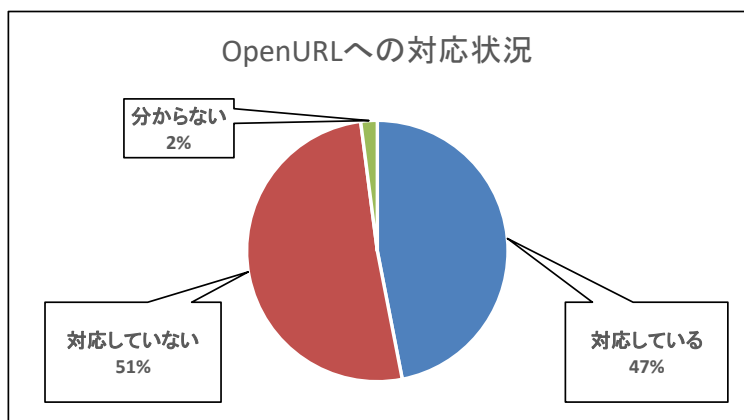
<提供又は計画している館（49館）への設問> ベンダーについて

富士通	21
カーリル	16
NEC	4
NTTデータ九州	3
その他	5



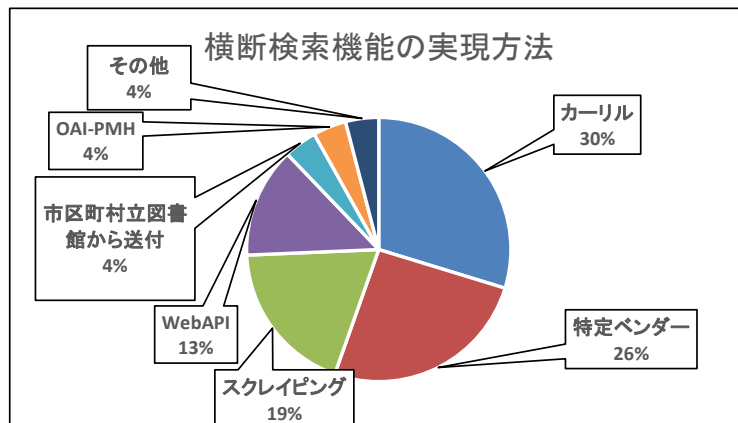
<提供又は計画している館（49館）への設問> OpenURLへの対応状況について

対応している	23
対応していない	25
分からない	1



＜提供又は計画している館（49館）への設問＞ 横断検索機能の実現方法について

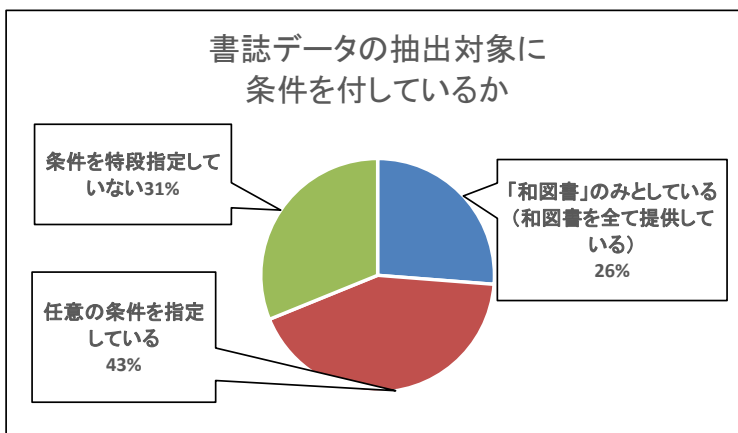
カーリルUnitrad API を使用している	22
特定ベンダー仕様のプロトコルにより書誌データを交換している	19
スクレイピング で市町村立図書館の書誌データを抽出している	14
SRU /SRW 等のWebAPIを介して市町村立図書館システムと連携している	10
市町村立図書館から書誌データを定期的に送付してもらっている	3
OAI-PMHを使用して、市町村立図書館の書誌データを収集している	3
その他	3



（7） ＜データ提供館（61館）への設問＞ データの提供方法について

書誌データの抽出対象に条件を付しているか

「和図書」のみとしている（和図書を全て提供している）	16
任意の条件を指定している	26
条件を特段指定していない	19



＜国立国会図書館サーチへのデータ提供方法がSFTPの館（5館）への設問＞ 更新データ転送の自動化

自動化している	3
手動で行っている	2

＜国立国会図書館サーチへのデータ提供方法がSFTPの館（5館）への設問＞ 更新データ転送の頻度

毎週	4
毎月	1

(8) 総合目録ネットワークへのデータ提供全般に関する主なご質問・ご意見

総合目録掲載書誌のうち、当館のみが所蔵する書誌の数を知りたい。

(国立国会図書館の回答)

総合目録ネットワークデータ提供館向けの統計情報出力機能により、「累積基本書誌数」(自館が提供したデータのうち、同定処理を経て基本書誌(※)となったデータの該当日付時点の累積件数)をご確認いただくことは可能です。ただ、基本書誌に他の館の所蔵情報が紐づいている場合や、同定処理がうまくいわずに基本書誌となる場合があるため、上記「累積基本書誌数」は、自館のみが所蔵する書誌の数とは同義ではありません。

ご要望につきまして、今後、機能改善の検討にあたり参考とさせていただきます。

(※) 総合目録ネットワークでは、受け付けた個々の書誌データについて、データベースの中に一致するデータがあるかどうか機械的に判定します。一致するデータがない場合、データベースに新規登録を行います。この新規登録されたデータを「基本書誌」と呼びます。

◇統計情報出力機能について

国立国会図書館総合目録ネットワーク > 参考情報 > マニュアル > 第5章 管理機能の利用 > 3 統計情報の出力

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/somoku/info/manual/chapter5#3>

総合目録ネットワークの所蔵のみを確認して借用依頼していると思われる館があるので、自館所属地区の各県横断検索及び依頼先館のOPACを確認することをさらに周知できると望ましい。

(国立国会図書館の回答)

総合目録ネットワークのウェブサイト掲載のマニュアル(第4章2「相互貸借のルールとマナー」)について、参加館へ連絡事項をお伝えする際に、合わせて周知をいたします。

◇国立国会図書館総合目録ネットワーク > 参考情報 > マニュアル > 第4章 相互貸借の依頼 > 2 相互貸借のルールとマナー

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/somoku/info/manual/chapter4#2>

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

いただいたご意見は、今後の総合目録ネットワーク事業の運営に活用いたします。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。